

大和高田市立病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	転倒転落アセスメントシートを用いたカンファレンスの有効性 ～ケアカンファレンス前後の看護師の意識変化～ (R2-6)
当院の研究責任者 (所属)	山田菜摘 (中央手術室)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の目的	<p>A 病院では、独自に作成した転倒転落アセスメントシートを入院時に使用し、転倒転落の防止に努めている。しかし、A 病院の病棟で勤務する看護師が、転倒転落アセスメントシートの活用方法や各項目の意図を理解した上で使用しているかは定かではなく、転倒転落のインシデントが発生している。患者さんのニーズに応えた看護援助を行うには、患者さんの全体像を正確に捉えなければならないが、看護師 1 人 1 人が得る、患者さんに関する情報には限界があり、看護師としての経験年数の差、看護観の違いなどから、患者像の捉え方にも違いが生じることがある。このことから、より多くの情報を得、立案した看護計画を検討し、謳歌的な看護展開を生み出す場としてカンファレンスは有効であると考えます。</p> <p>A 病院独自の転倒転落アセスメントシートに関する勉強会を開催。勉強会実施前後のカンファレンスに対する看護師の意識に着目したアンケートに回答していただく。本研究では、番協会を開催することによって転倒転落アセスメントシートを用いたケアカンファレンスを行い、よりよい看護ケア援助の提供につなげることを目的とする。</p>
調査データ 該当期間	2020 年 8 月から 2020 年 11 月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> 研究デザイン：量的研究 データ収集の方法：アンケート調査 1 回目終了後、勉強会を行い、2 回目のアンケート調査を行う。 データの分析方法：単純集計、単変量解析
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	担当者：山田菜摘 (中央手術室)
備考	